

選定手順

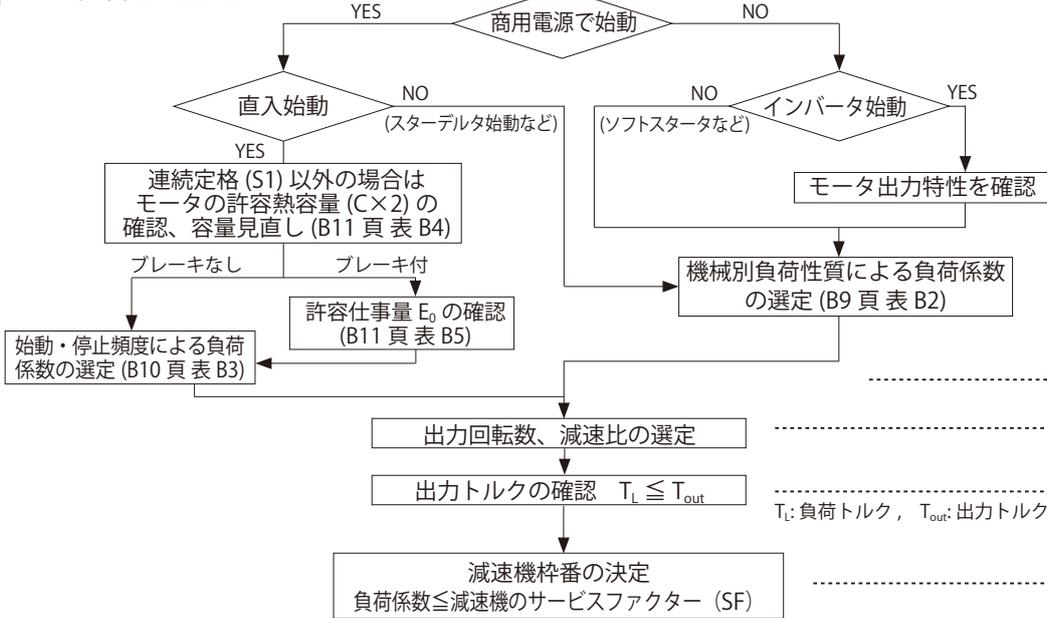
次のフローチャートを参考に、機種選定を実施して下さい。選定方法について分からない場合は、ご照会ください。

Step1: 使用条件の決定

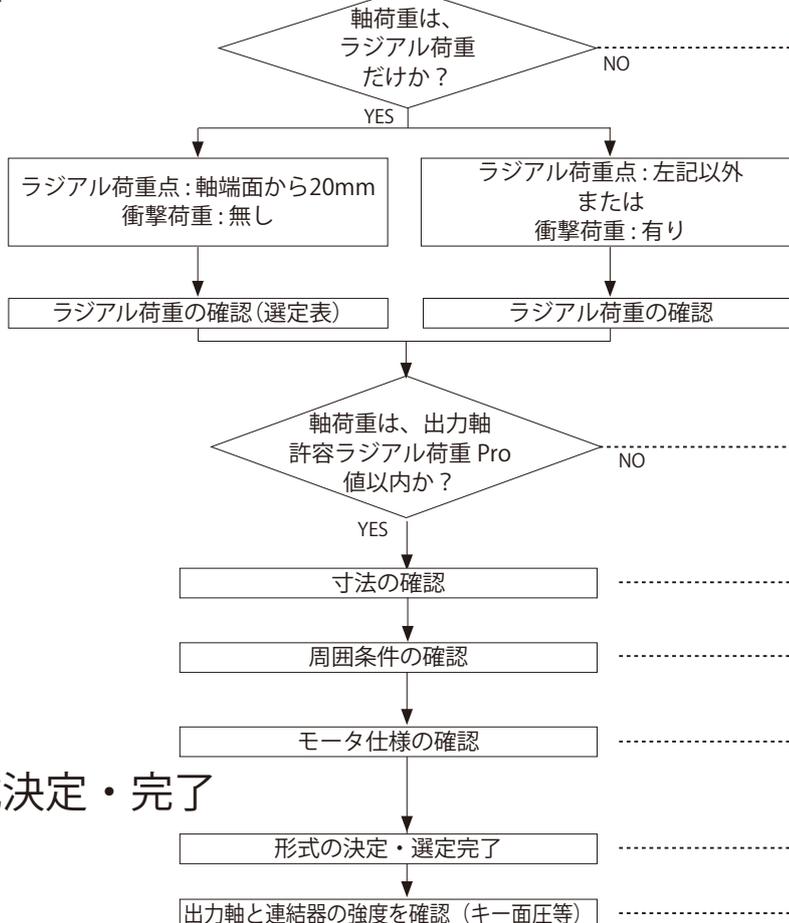
選定を始める前に、次の条件を決定して下さい。

- ・用途
- ・連続運転か、または起動・停止が頻繁に行われる運転か
- ・電源は直入れか、スターデルタ始動やインバータ駆動か
- ・モータ容量 (kW)、及び出力回転数または減速比
- ・ラジアル荷重
- ・1日あたりの運転時間
- ・衝撃荷重の度合い
- ・取付方向 (出力軸方向)
- ・モータに関する仕様 (電源周波数、電圧、ブレーキの有無など)
- ・周囲条件 (使用環境)

Step2: 機種選定



Step3: 確認



Step4: 形式決定・完了

用語の説明
<ul style="list-style-type: none"> ・サービスファクター (SF) 減速機の許容入力容量をモータ容量で割った値。 ・使用環境パッケージ 環境 3 要素 (水・腐食・粉塵) を防ぐレベルを選ぶだけで、仕様が決まるようパッケージ化したもの (B5 頁参照)。

手順の説明
<ul style="list-style-type: none"> ・ B9 頁より、用途に合った負荷係数を選定してください。 ・ 始動・停止を繰り返す運転の場合は、B10 頁の始動・停止頻度と減速機の負荷係数、B11 頁のモータの許容熱容量を確認してください。また、ブレーキ付の場合は、B11 頁で制動仕事量が許容仕事量 E_0 以下であることをご確認ください。 ・ C27 頁でブレーキトルクを確認してください。 ・ B12 頁からの選定表で、お使いのモータ容量が記載されている頁を開いてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選定表より、ご使用の出力回転数または減速比に近い値が記載されている欄を選んでください。 ・ 出力トルクが、お客様の使用値を満たしているかどうか、確認ください。出力トルクが足りない場合は、モータ容量を 1 クラス上げてください。 ・ 選定した負荷係数よりも大きいサービスファクター (SF) を持つ組合せを、選定表から選んでください。 ・ 減速機の出力軸にかかる荷重は、ラジアル荷重だけかどうか、確認ください。 ・ ベベル・バディボックス 4 シリーズをご使用ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ご照会ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ベベル・バディボックス 4 シリーズをご使用ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 寸法を確認してください。お客様のご使用の条件に合わない場合は、ご照会ください。 ・ 選定した組合せが、周辺の環境などの条件に合っているか、B2、B3 頁の「標準仕様」で確認ください。また B5 頁の「使用環境パッケージ」を指定してください。 ・ 選定した機種に直結されるモータが、お使いの条件 (電源、環境、耐熱クラス等) に合っているか、確認ください。 ・ 選定した機種について、B4 頁の「形式」をご参照の上、形式を決定してください。以上で機種選定は完了です。 ・ 起動・停止時の最大トルクで確認してください。